

令和6年度 上野村立上野中学校 学校経営方針

令和6年4月1日 校長 今井 啓介

【基本理念】上野村に誇りを持ち、ふるさと上野村に心を寄せ続けられる児童生徒の育成

学校教育目標

進んで学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成

【具体目標】

- ・ 自主的、創造的に学び行動する生徒（確かな学力）
- ・ 誠実で思いやりのある生徒（豊かな人間性）
- ・ 健康で気力、体力のある生徒（健やかな体）



目指す具体像

- 1 目指す学校像
 - ・ 生徒が生き生きと活動する活力ある学校
 - ・ 教職員が組織で協働する学校
 - ・ 保護者や地域に信頼される学校
- 2 目指す生徒像
 - ・ 自主的、創造的に学び行動する生徒（自立的に学習し、努力できる）
 - ・ 誠実で思いやりのある生徒（思いやりの言葉と態度で人とかかわる）
 - ・ 健康で気力、体力のある生徒（心と体を鍛え、新しいことに挑戦できる）
- 3 目指す教職員像
 - ・ 生徒一人一人の心を受け止め、夢の実現を支援する教職員
 - ・ 保護者や地域を大切にし、組織で対応する教職員
 - ・ 教育公務員としての使命感と自覚をもち、自らを磨き続ける教職員

学校経営方針

- 1 生徒の実態を踏まえた「社会に開かれた教育課程」を編成し、創意工夫を生かした実施と評価に努める。
- 2 自ら学ぶことの意義を理解させ、小中9年間を見通した生徒主体の授業づくりに努める。
- 3 基本的な生活習慣の確立及び学力の向上が図れるよう、的確な生徒理解と発達段階に基づく学年、教科等の経営を行う。
- 4 積極的な生徒指導と健康・安全指導の充実により、「問題行動0・交通事故0・学校事故0」を目指す。
- 5 小規模校のよさを生かしながら、保護者・地域との連携・協働を図り、地域に根ざした特色ある教育活動を展開する。
- 6 服務規律が確保され、互いの夢を語りあえる「風通しのよい上野中」づくりに努める。

指導の重点

【確かな学力】

- 教材研究の充実を図り、「伸ばしたい資質・能力」を明確にした生徒主体の対話的な授業づくりに努める。(授業改善)
- 小規模校の特色を生かしたきめ細かな学習指導の充実を努め、ICTの活用による基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を目指す。(基礎学力向上)
- 読書活動を推進し、自ら読書に親しんだり、わからないことを追究したりする姿勢を育む。

【豊かな人間性】

- 生徒一人一人が挑戦・活躍する場面を設定し、生徒の「自己決定」「自己存在感」を育むとともに、「共感的な人間関係」の中で活動への意欲を引き出し、継続させる。
- 生徒主体の人権教育を推進するとともに、道徳授業の質的充実を図り、思いやりの心を育てる。
- 学校全体で迅速な情報共有に努め、担任、副担任、教科担当等のすべての教員による生徒理解を通して、不登校や問題行動の未然防止や早期解決を図る。

【健やかな体】

- 家庭や学校生活における様々な困難やストレスへの対処方法、「SOSの出し方」などの知識を身に付けさせるとともに、悩みを抱える仲間を支援できる人間関係づくりに努める。
- けがや病気を予防し、自ら健康・安全に留意して生活していこうとする意欲と態度を育む。
- 部活動、パワーアップタイムなど運動環境の充実と食育をはじめとする健康教育の充実を図る。

組織力向上のための重点

【校内組織力の向上】

- 各主任による計画力・調整力の育成を図り、質の高い校務分掌の実施に努める。
- 報告・連絡・相談・記録をきめ細かく行うことにより、共通理解、共通行動を徹底し、様々な事案に迅速に対応できる組織づくりに努める。
- スクールカウンセラーと連携して教育相談の充実を図り、生徒や保護者の悩みを的確に把握し、早期対応、早期解決を図る。
- 学校行事の精選、業務のスリム化を図り、教職員が生徒と向き合う時間の確保と教職員のメンタルヘルスケアに努める。

【地域とのつながり】

- 自然体験や地域の人材活用等、地域のよさを生かした教育活動の充実を図る。
- 学校運営協議会の熟議により学校課題の解決を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。
- 危機管理体制の整備、関係機関と連携した安全・防災教育の充実を図る。
- 教育活動をホームページや回覧板等で家庭・地域に情報発信し、学校教育への理解を深める。

研修の充実と服務規律の確保

- 校内研修では、ICTの効果的な活用を意識し、主体的で対話的な学びを深めるための各教科の授業改善、今日的な課題への対応等、職能成長に資する研修を推進する。
- 服務規律の確保にかかわる研修を工夫し、教職員一人一人が教育公務員としての自覚を高め、教職員集団としての使命感や倫理意識を高める。